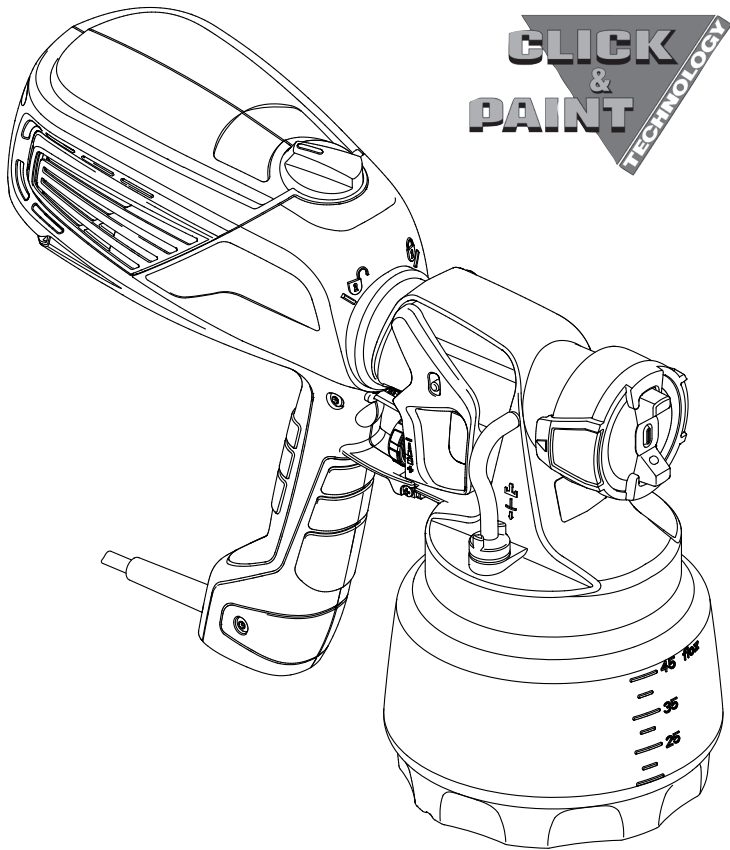


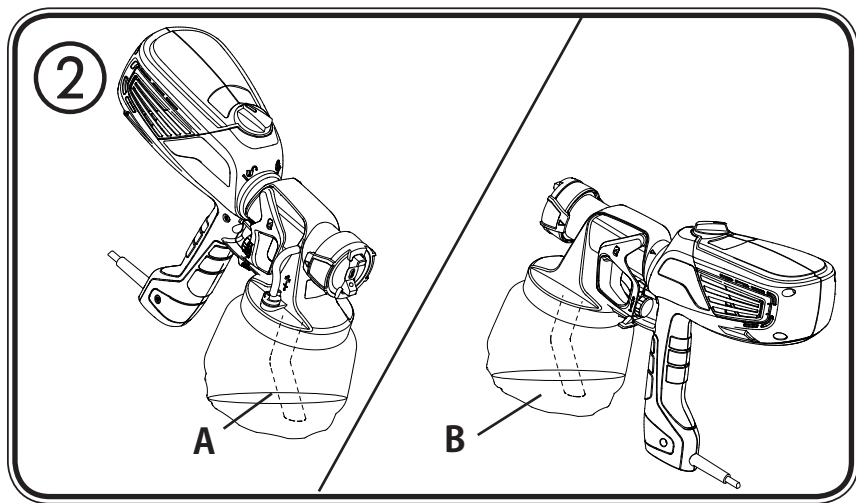
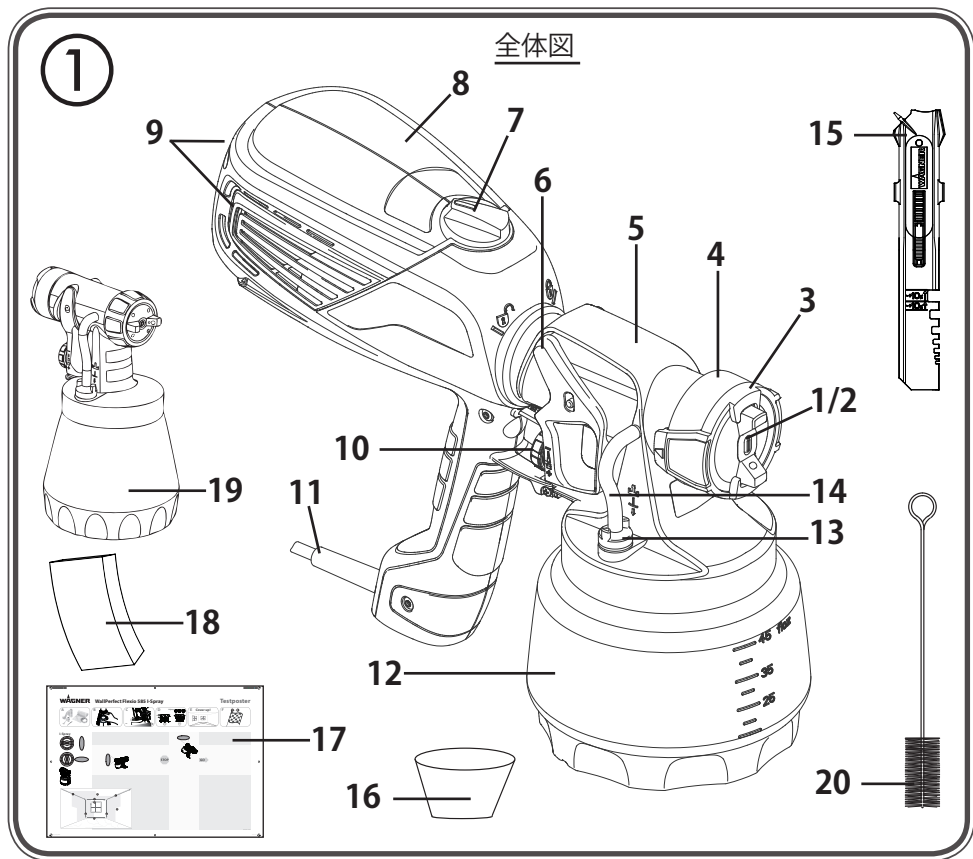
WAGNER



WallPerfect[®]
Flexio
570

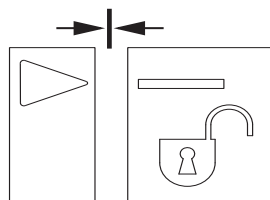
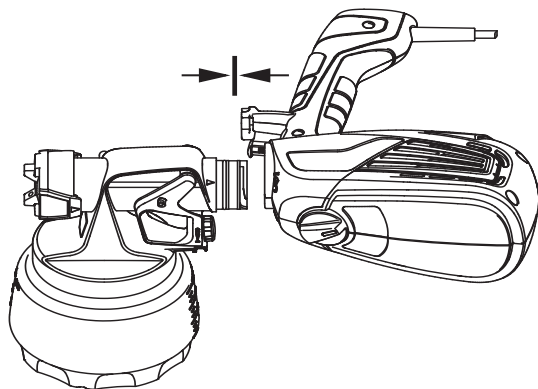
JP



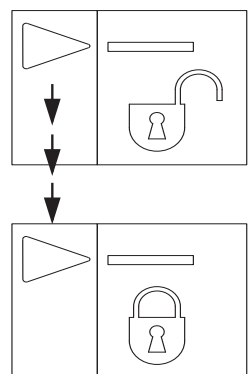
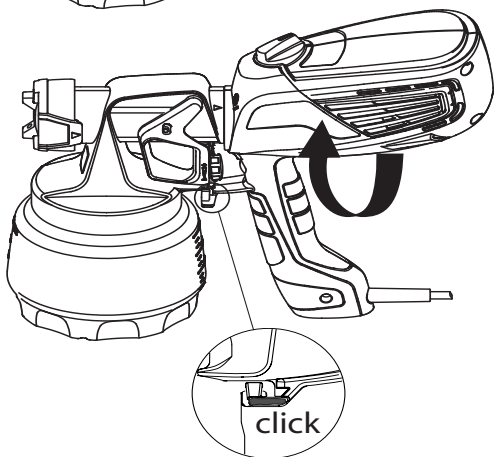


3

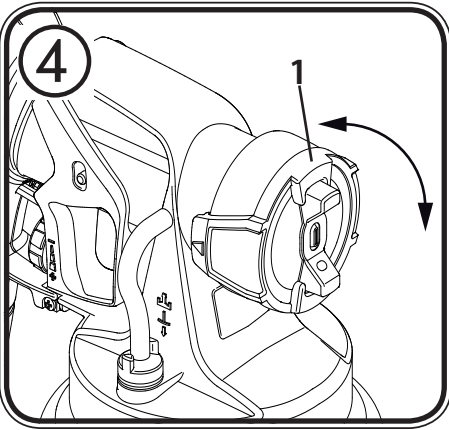
a



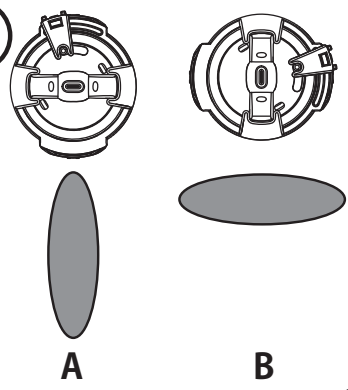
b

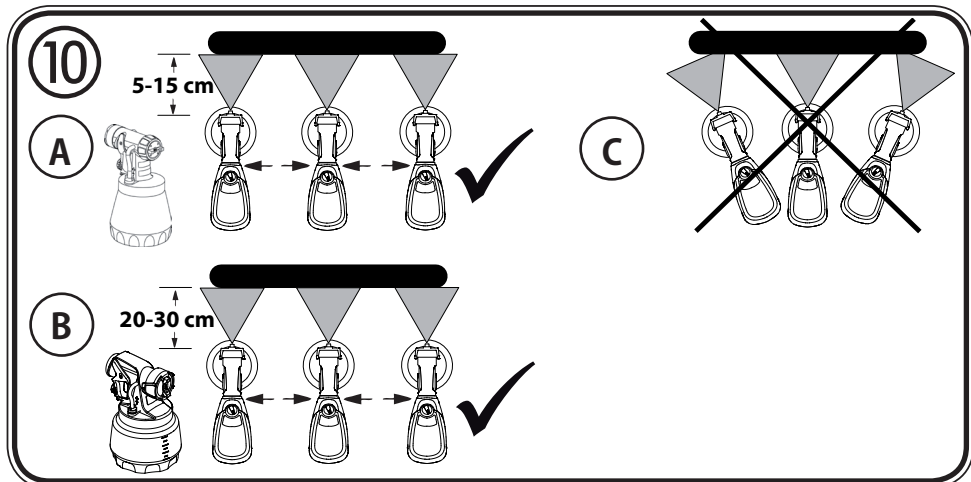
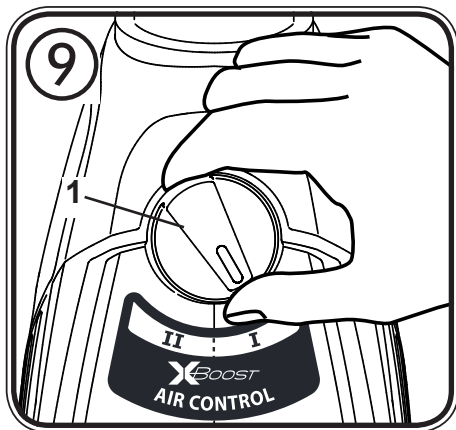
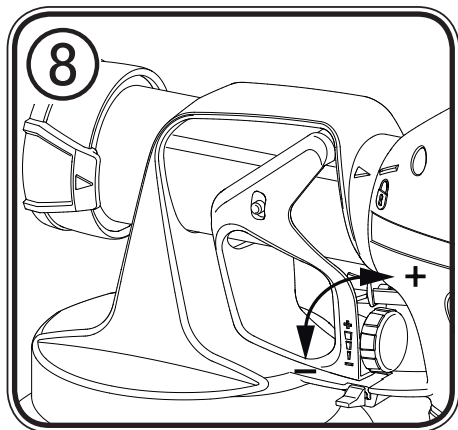
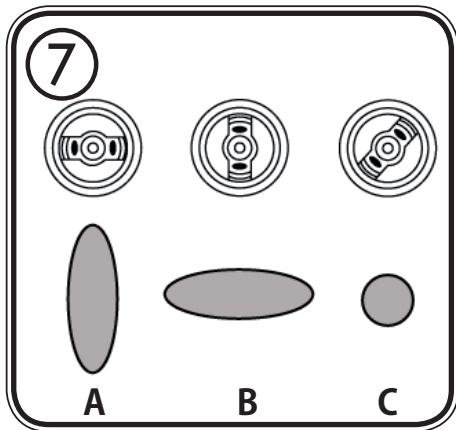
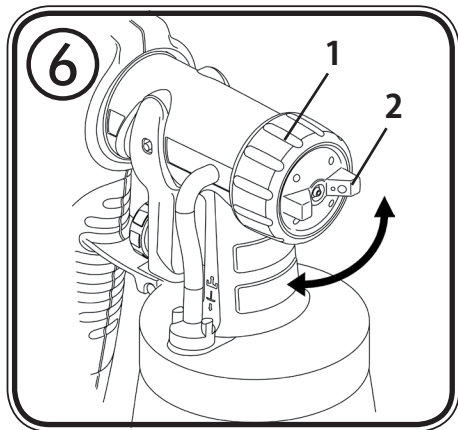


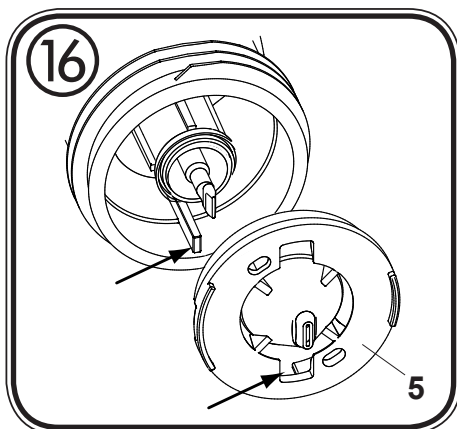
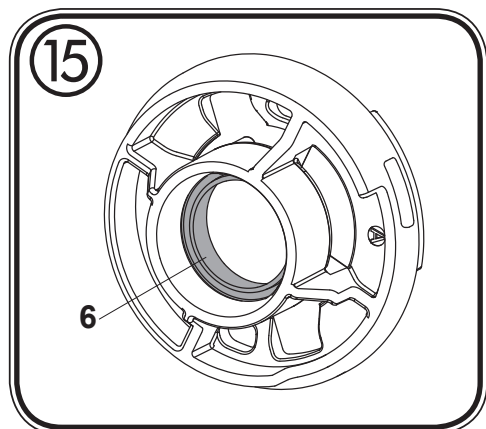
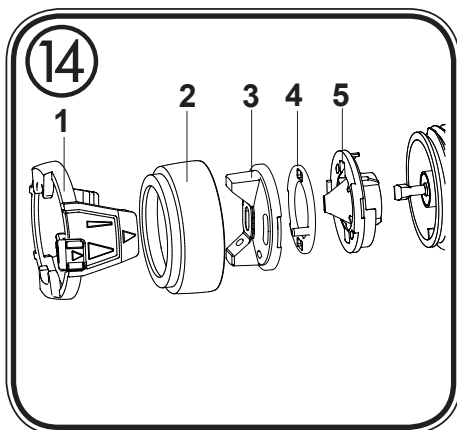
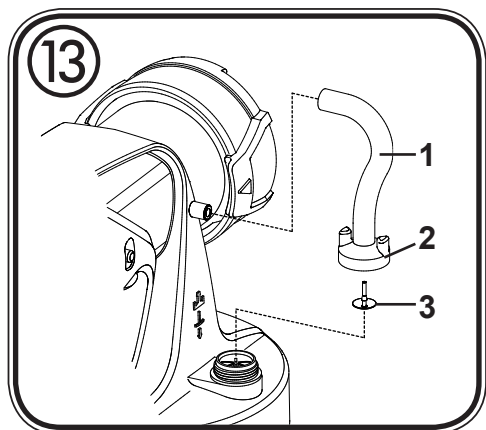
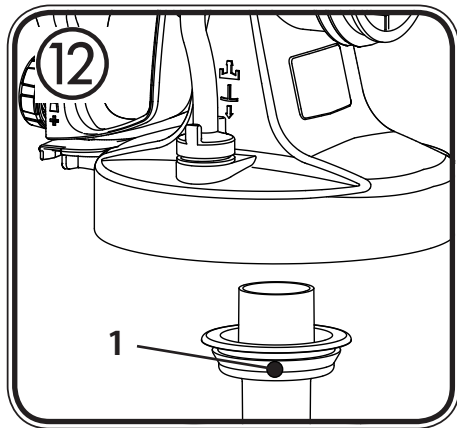
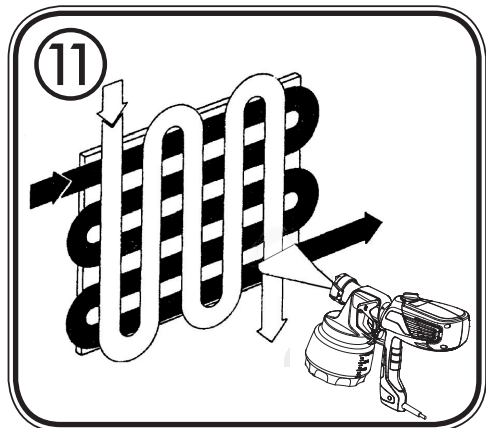
4

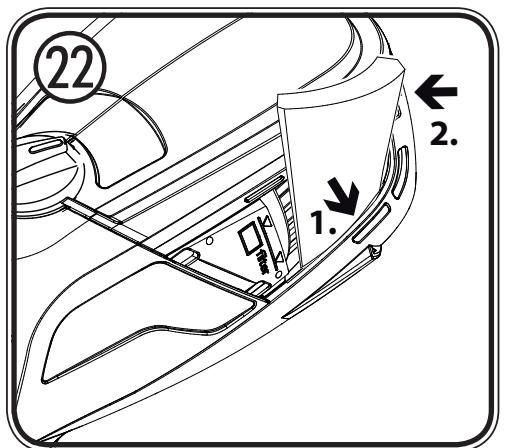
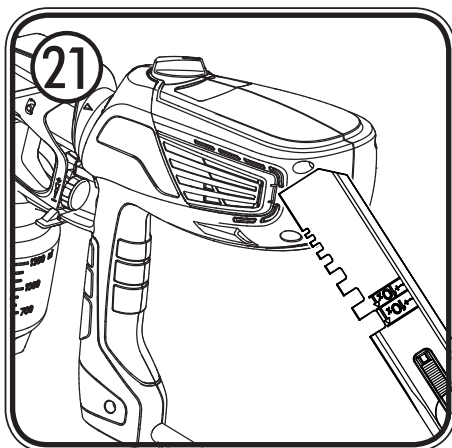
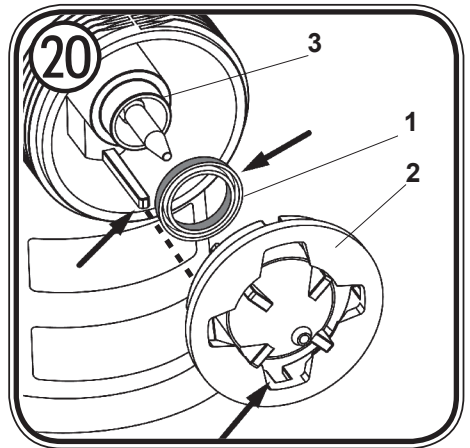
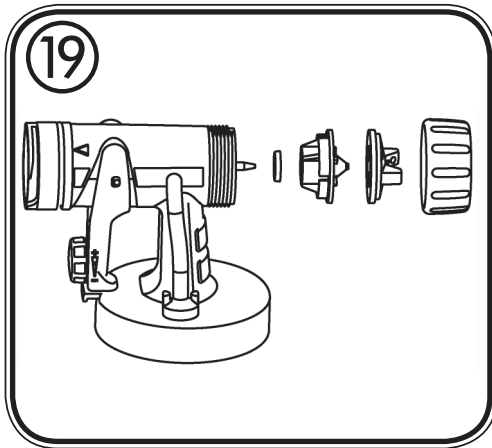
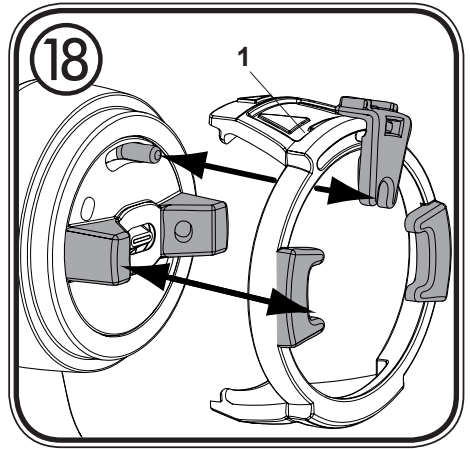
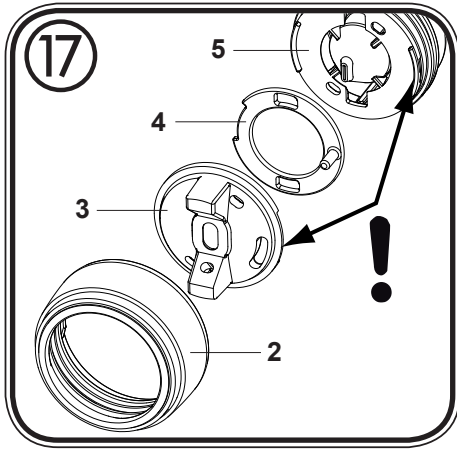


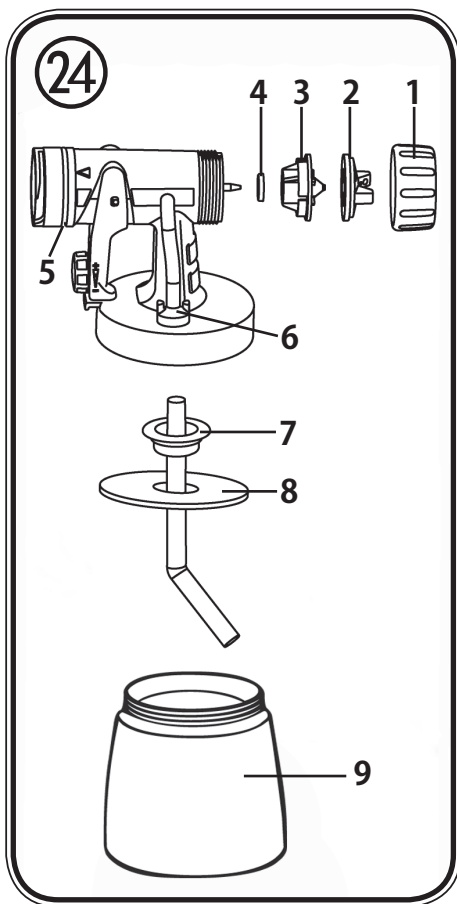
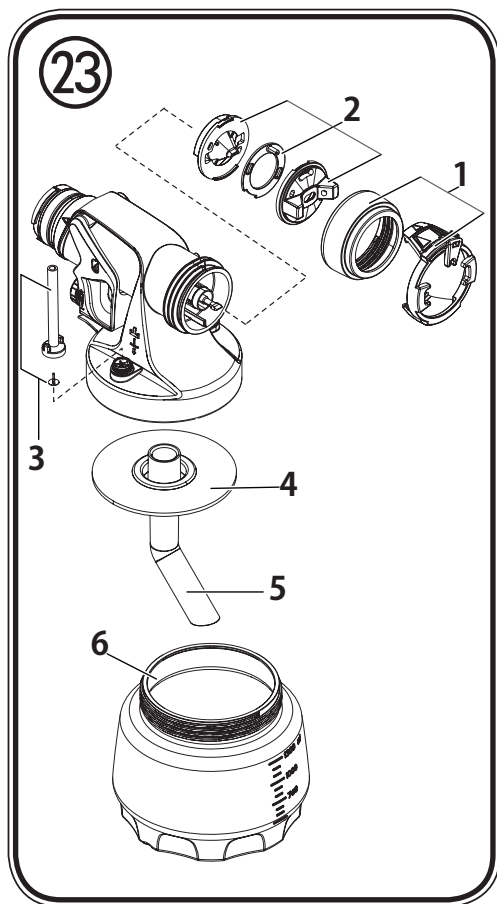
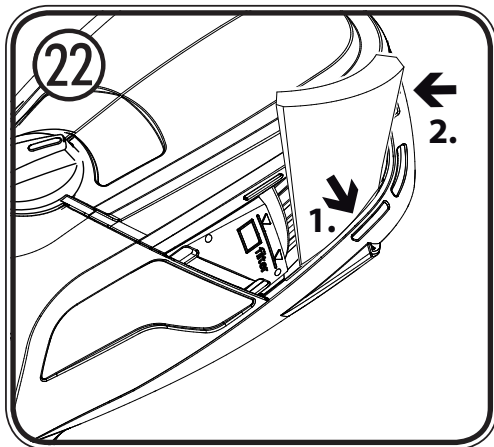
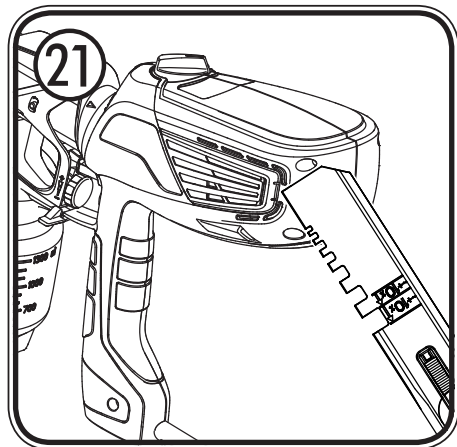
5





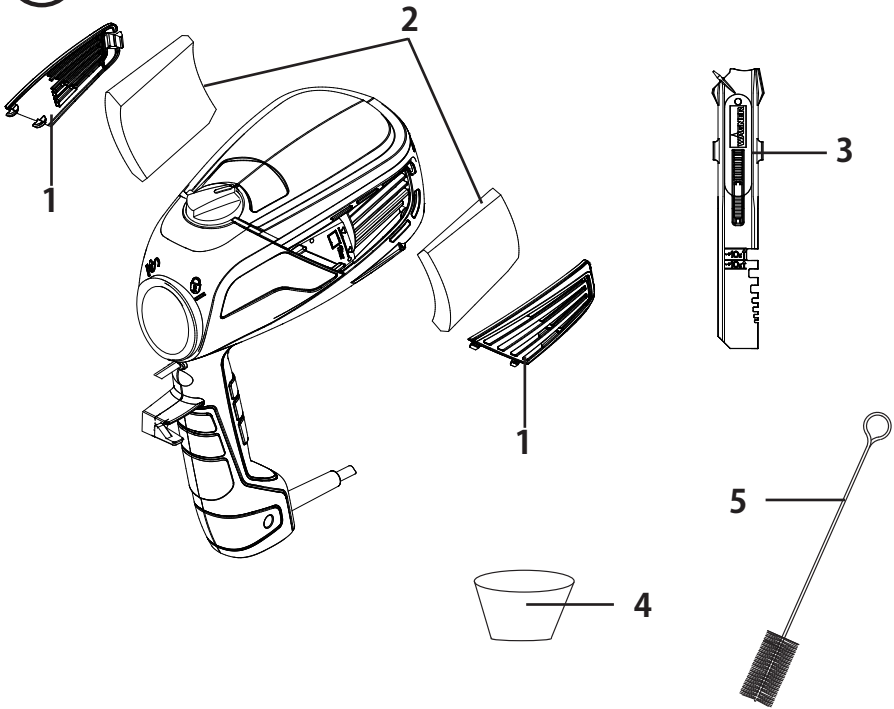






25

部品・付属品



本製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。

この度はWAGNER Flexio 570 (フレキシオ570)をご購入いただき、誠にありがとうございます。




ご使用前に本操作説明書を注意深く読み、記載されている指示に従ってください。

本操作説明書はいつでも必要な時に取り出せるように、大切に保管してください。

目次

1. 記号の説明	2
2. 安全規定	2
3. スプレーガンの使用上の注意.....	4
4. セット構成.....	5
5. アプリケーション範囲.....	6
6. 使用できるコーティング剤	6
7. 使用できないコーティング剤.....	6
8. 作業場の準備 (インドアの場合)	6
9. コーティング剤の準備	7
10. 使用開始	7
11. スプレーパターンの調整 (WallPerfect スプレーアタッチメント).....	8
12. スプレーパターンの調整 (ブリリアントスプレーアタッチメント).....	8
13. 吐出量の調整 (図 8).....	8
14. エアー量の調整 (図 9).....	9
15. 正しいスプレー方法.....	9
16. 使用の中断.....	10
17. 使用の停止と洗浄.....	10
18. WallPerfect スプレーアタッチメントの洗浄.....	11
19. ブリリアントスプレーアタッチメントの洗浄.....	12
20. メンテナンス.....	13
21. 交換部品	13
22. 付属品	14
23. トラブルシューティング	15
24. 技術データ	16
25. 廃棄に関する注意.....	17
26. 製造物責任に関する重要事項.....	17

1. 記号の説明

	この記号は使用者または機器に対する潜在的な危険性を示します。この記号の下には怪我や機器の損傷を防ぐために重要な情報が記載されています。
	電気ショックの恐れ
	使用上のコツや便利なヒントを示します。

2. 安全規定

注意！ 法律で定められている規則および安全要件のすべてに従う必要があります。危険を回避するため、本操作説明書を注意深く読み、記載されている指示に従ってください。

1. 作業環境の安全性

- a) 作業環境は清潔に保ち、十分な照明を用意してください。整頓されていない場所、照明の不十分な場所での作業は事故につながりかねません。
- b) 本機は可燃性の液体や気体、塵のある環境で使用しないでください。本機から出た火花によって、塵や気体が引火する可能性があります。
- c) 本機の使用中は、幼児など、作業員以外の人を近づけないでください。気を取られ、操作を誤る可能性があります。

2. 電気の安全性

- a) 本機の電源プラグがコンセントに合っていることを確認します。適切なプラグとコンセントを使うことで、電気ショックのリスクが最小限に抑えられます。
- b) 本機を雨や水で濡らさないでください。本機に水が浸入すると、電気ショック・ショートのリスクが高まります。
- c) ケーブルを本機の運搬や吊り下げといった目的に使用したり、コンセントから電源プラグを抜くときに引っ張ったりしないでください。ケーブルを熱やオイル、尖った物、可動部品の近くに置かないでください。ケーブルが破損したり絡まったりすると、電気ショック・ショートのリスクが高まります。
- d) 本機を屋外で使用する場合は、必ず屋外での使用に適した延長ケーブルを使用してください。屋外での使用に適した延長ケーブルを使うことで、電気ショック・

ショートのリスクが抑えられます。

- e) 本機を湿気の多い環境で使用しなければならない場合は、漏電遮断器を使用してください。漏電遮断器を使用することで、電気ショック・ショートのリスクが抑えられます。

3. 人体の安全

- a) 自分が行っていることに集中し、十分な注意を払って本機を扱うようにしてください。疲れているとき、またはアルコール、薬の影響下にあるときは、本機を使用しないでください。本機の使用中は一瞬の不注意が深刻な怪我につながりかねません。
- b) 個人用防護具の着用をお勧めします。防塵マスクや滑り止めの付いた安全靴、安全ゴーグルなどの個人用防護具を着用すると、怪我のリスクが抑えられます。
- c) 偶発的な作動を防止してください。電源プラグをコンセントに差し込む前に、スイッチが「オフ」(トリガーが押えられていない状態)になっていることを確認します。指をトリガーに掛けた状態で本機を運搬したり、電源につないだりすると、事故につながる可能性があります。
- d) 本機を電源につなぐ前に、作業場所から工具やスパナ等を取り除いてください。本機の近くに工具やスパナ等があると、怪我につながる可能性があります。
- e) 不自然な姿勢で作業をしないでください。不自然な体勢でいると、予期しない状況が発生した場合に本機を適切にコントロールできません。
- f) 適切な衣服を着用してください。ゆるめの衣服や垂れ下がる装飾品を着用しないでください。髪、衣服、手袋を可動部品に近づけないでください。ゆるい衣服や装飾品、長い髪は、可動部品に巻き込まれる可能性があります。
- g) 本機はおもちゃではありません。子供の手の届かない場所で保管し、勝手に使用させないでください。

4. 電源装置の取扱いと使用

- a) 電源に過度な負荷を与えないでください。本機に適した電源を使用してください。適切な電源を使えば、指定の出力範囲で確実に、効率よく作業できます。
- b) スwitchの故障した本機は使用しないでください。スイッチを入れたり切ったりできない本機は、危険なので修理が必要です。
- c) 本機のメンテナンスや付属品の交換を行うとき、または本機をしまうときは、必ずプラグをコンセントから抜いてください。このような安全対策を取ることで、偶発的な事故が防止できます。
- d) 使用していない本機は、子どもの手の届かない場所に保管してください。本機の操作 방법에詳しくない人や、操作説明書を読んでいない人には、本機を使用

させないでください。

- e) 本機のメンテナンスは、丁寧に行ってください。可動部品がスムーズに作動すること、部品が破損していないこと、部品に本機の機能に影響するような損傷がないことを確認してください。損傷がある部品を修理、または交換してから、本機の使用を再開します。事故の多くは、不適切なメンテナンスに起因しています。
- f) 本機、付属品、交換部品は、その機種に規定されたものを、操作説明書に従って使用してください。その際、必要な作業と作業環境に注意を払ってください。また、規定されている以外の用途に本機を使用すると、危険な状況を招く可能性があります。

5. サービス

- a) 本機の修理は、必ず資格を持った専門技術者が正規交換部品を使って行うようにしてください。そうすることで、本機の安全性が保たれます。
- b) 本機の電源ケーブルが損傷した場合は、危険を回避するため、メーカーかその顧客サービス、または同様の資格を持つ販売店に交換を依頼してください。

3. スプレーガンの使用上の注意

- 防塵マスクを着用してください。準備や作業、本機の洗浄を行う際は、使用しているコーティング剤、溶剤、洗浄剤のメーカーの処理規定に従ってください。場合によっては、皮膚を保護するため、防護服や安全ゴーグル、手袋、皮膚保護クリームが必要です。



危険：怪我の危険性があります！

スプレーガンを自分や他の人、動物に絶対に向けないでください。



スプレーされたコーティング剤がコンセント内に入らないように、作業場所から十分に離れたところで電源を取ってください。スプレーされたコーティング剤がコンセント内に入ると電気ショックの恐れが高まります。



注意！ 本機は、ノズルシールが正しく装着された状態でしか使用できません。ノズルシールが損傷していたり、外れていると、液体が装置内に流れ込む可能性があり、電気ショックの恐れが高まります。使用前にノズルシールを必ず確認してください。

- 本機を爆発防護の法令で規制される施設で使用しないでください。
- 本機のメンテナンスをする場合、コンセントから電源プラグを必ず抜いてください。
- 可燃性のコーティング剤や洗浄剤を使用しないでください。
- スプレーされたコーティング剤から生じる危険性に配慮し、コーティング剤容器に貼られているラベルや製造メーカーによる注意事項をよく読んでください。
- 危険性を把握していないコーティング剤は使用しないでください。

- 作業場所に、火や、火を付けたタバコ、赤熱したワイヤー、高温の表面、研削切断による火花などの引火源がないことを確認してください。
- 屋内や屋外で塗装機を使用する場合、溶剤の蒸気がスプレーガンの方向に流れていかないよう、また、スプレーガンの周辺で溶剤を含む蒸気が発生しないよう、注意してください。
- 屋外では風向きを考慮してください。屋内で作業するときには、溶剤蒸気を散らすため、十分な換気を行う必要があります。
- 本機を子供に触らせないでください。
- 電気機器の処理または修理は、電気技術者だけが実行できます。操作説明書に注意事項が記載されている場合でも、これらの作業は電気技術者に依頼してください。
- 本機は、チェックバルブセットが正常に機能する状態でしか使用できません。コーティング剤が通気ホース(図1の14)内を上がってきた場合は、本機の使用を中断してください! 通気ホース、チェックバルブカバー、チェックバルブを取り外し、洗浄し、必要ならチェックバルブを交換してください。
- スプレーガンは、横にして置かないでください。
- 本機は、オーバーヒート時の自動電源オフ機能を備えています。自動電源オフ機能が働いた場合は、電源プラグをコンセントから外し、30分程作業を中断してください。オーバーヒートの原因となるエアフィルターの詰まりを確認してください。

WAGNERの正規付属品および交換部品のみ使用してください。正規付属品および交換部品以外のパーツの使用、また取り付けが不適切であった場合、保証対象外になります。

4. セット構成

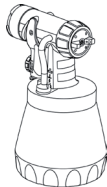
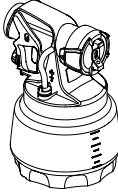
セット構成 (図 1)

1) エアーキャップ	2) ノズル
3) スプレー調整リング	4) ジョイントナット
5) WallPerfect スプレーアタッチメント	6) トリガー
7) エアー量調整ノブ	8) スプレーガン タービン部
9) エアフィルターカバー(右 + 左)	10) 吐出量調整ノブ
11) 電源ケーブル	12) コンテナ
13) チェックバルブカバー	14) 通気ホース
15) 攪拌スティック	16) 漏斗(×2)
17) 試し吹き用ポスター	18) 交換用エアフィルター(×2)
19) ブリリアントスプレーアタッチメント	20) 洗浄ブラシ
21) 交換用ノズルシール ブリリアントスプレーアタッチメント用*(図表記なし)	22) グリース*(図表記なし)

* 開封時はコンテナ内に入っていますので、使用開始時に取り出してください。

5. アプリケーション範囲

Flexio 570 (フレキシオ570) は、異なるスプレーアタッチメントを使い分けることで、様々なコーティング剤に対し最適なスプレーが可能です。

コーティング剤	スプレーアタッチメント
低粘度のコーティング剤： 水性／油性の仕上げ塗料、二液型塗料（ 可使時間に注意）、自動車用塗料、ステイ ン、木材保護塗料など	ブリリアント 
内壁用塗料（エマルジョン、ラテックス塗 料）	WallPerfect（ウォールパーフェクト） 

6. 使用できるコーティング剤

内壁用塗料（エマルジョン、ラテックス塗料）
 水性／油性の仕上げ塗料、二液型塗料（可使時間に注意）、自動車用塗料、ステイン、
 木材保護塗料

7. 使用できないコーティング剤

溶解度の強い塗料（＝強溶剤系塗料）、強い研磨成分を含んだ塗料、漆喰、砂状塗料、
 苛性ソーダ、可燃性塗料、二液型塗料で可使時間の短いもの

8. 作業場の準備（インドアの場合）



電源コンセントをマスキング（養生）してください。スプレーされたコーティ
 ング剤が電源コンセント内に入ると電気ショック・ショートのリスクが高まりま
 す。



その他塗装しない場所はしっかりとマスキング（養生）してください。



マスキング（養生）は、包装材や同梱の資料に記載されている取扱上の注意
 を参照し行ってください。

9. コーティング剤の準備

- 容器内の材料をしっかりと攪拌してからお使いください。

i

Flexio570 (フレキシオ570) は様々なコーティング剤を希釈なしでスプレーできますが、スプレー霧化が粗い場合は必要に応じてコーティング剤を希釈してください。

希釈に関する詳しい情報はコーティング剤容器に貼られているラベルや製造メーカーのデータシートを参照してください。

10. 使用開始

電源に接続する前に、電圧が銘板に記載されている使用電圧と一致していることを確認してください。

- スプレーガンからコンテナを外します。
- サクションチューブの位置を調整します。(図2)
サクションチューブが正しい位置にあれば、効率よくコーティング剤を使用することができます。
床と水平に置いた被塗物を塗装する場合： サクションチューブを前に回します。(図2A)
頭上の被塗物を塗装する場合： サクションチューブを後ろに回します。(図2B)
- コンテナを紙(新聞紙、段ボールなど)の上に置き、準備したコーティング剤を充填します。その際、セット構成に含まれている漏斗(図1の16)を使うと簡単に充填できます。充填が終了したら、コンテナをしっかりとスプレーガンに取り付けます。
- スプレーガンのアタッチメント部とタービン部を接続します。(図3)
- スプレーガンを水平な場所に置きます。水平でない場所に置くと、スプレーガンが倒れる可能性がありますので注意してください。
- スプレーガンのトリガーを引きます。Flexio570 (フレキシオ570) には、2段階式のトリガーが装備されています。第1段階まで引くとエアが噴霧します。トリガーをさらに深く引くとエアとコーティング剤が噴霧します。
- 必要に応じて、スプレーパターン、吐出量、エア量を調整します。

i

セット構成に含まれている試し吹き用ポスターを使って、作業前にスプレーガンの操作に慣れていただくことをお勧めします。スプレーパターン・吐出量・エア量の調整方法は11-14章を参照してください。

11. スプレーパターンの調整 (WallPerfect スプレーアタッチメント)



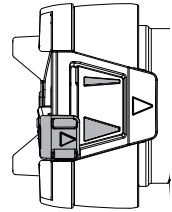
警告!ケガの恐れ! エアーキャップを調整している間は、絶対にトリガーを引かないでください。

スプレー調整リングで2種類のスプレーパターンを選択できます。(図4, 1)

- 図 5 A = 垂直スプレー → 横長の塗装面に
 図 5 B = 水平スプレー → 縦長の塗装面に



調整レバーを使ってスプレー幅も選択できます。
 ワイド (▷)、コンパクト (◁)



12. スプレーパターンの調整 (ブリリアントスプレーアタッチメント)



警告!ケガの恐れ! エアーキャップを調整している間は、絶対にトリガーを引かないでください。

ジョイントナット(図6, 1)をわずかに緩め、エアーキャップ(2)を適切なスプレーパターンの位置に合わせます。最後にジョイントナットをしっかりと締めます。

- 図 7 A = 垂直スプレー → 横長の塗装面に
 図 7 B = 水平スプレー → 縦長の塗装面に
 図 7 C = 丸スプレー → コーナー部、角部に

13. 吐出量の調整(図8)

トリガー部分の吐出量コントローラを回転させることで、吐出量を調整できます。

- 吐出量の減少 → 反時計回りに (-)
 吐出量の増加 → 時計回りに (+)

14. エアー量の調整 (図 9)

- i** コーティング剤の粘度と塗装面の仕上げによって、エアー量を調整することをお勧めします。

エアー量調整ノブ (図 9.1) を適切な位置に合わせます。

低粘度 → Level I (レベル1)

高粘度 (例: 内壁用塗料) → Level II (レベル2)

15. 正しいスプレー方法

- i** コーティング結果は塗装面の滑らかさや清潔さに大きく左右されます。そのため、スプレーを開始する前に塗装面を清潔にし、十分に準備することが大切です。

- 塗装しない場所はしっかりとマスキングしてください。

- i** コーナー部からスプレーを開始します。また、被塗物へのスプレー中に中断せずに仕上げるのが大切です。

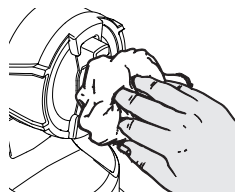
- スプレーの動きは手首を使うのではなく、腕全体を使います。こうすることによってスプレーガンと被塗物の間隔を常に並行、一定に保ちます。スプレーガンと被塗物の距離は 5 - 15 cm (内壁用塗料をスプレーする時は 20-30 cm) が理想です。

図 10 A / 10 B: **正しいスプレー方法:** 被塗物までの距離が一定です。

図 10 C: **間違ったスプレー方法:** 被塗物までの距離が一定でないと、塗装面にムラが生じます

- スプレーガンを横に、または縦に、均一な速度で動かします。
- 均一に動かすことで、塗装面のムラを防げます。

- i** **重要:** コーティング剤がノズルやエアーキャップに付着した場合は、溶剤あるいは水で洗浄して詰まりを防いでください。



- i** 垂直平面をスプレーする場合、「格子」パターンが最も効率的で仕上がりがきれいになります。(図 11)

- 内壁用塗料 (特に濃い色) をスプレーする場合は二度塗りをお勧めします。(一度目の塗料が完全に乾いてから二度目のスプレーを開始します。)

16. 使用の中断

- 長時間にわたり休憩する場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- コンテナを軽く緩め、再び締め直し、コンテナ内を通気してください。
- ノズルやエアークャップを溶剤あるいは水で洗浄してください。
- 二液型塗料を使用している場合は、ただちに適切な洗浄剤を使って本機を洗浄してください。

17. 使用の停止と洗浄

スプレー装置の快適な使用のために、適切な洗浄は欠かせません。不適切な洗浄によって生じた本機の不具合は、保証対象外になりますのでご注意ください。



スプレーガンのタービン部は、水や洗浄剤に浸さないでください。湿った布で汚れやほこりをふき取ってください。

- 1) 電源プラグをコンセントから抜きます。長時間作業を中断した際は、1) コンテナを軽く緩め再び締め直す、2) またはトリガーを引き、コーティング剤を捨て吹きすることでコンテナ内を通気してください。
- 2) スプレーガンを分解します。クリック (図 3b) を軽く下に押え、スプレーガンのアタッチメント部をタービン部から回転させて外します。
- 3) コンテナを外します。残ったコーティング剤は元の容器に戻し、コンテナを空にします。
- 4) コンテナ、サクションチューブをブラシで洗浄します。通気穴 (図12, 1) にコーティング剤が付着していないことを確認してください。
- 5) コンテナに洗浄剤 (溶剤または水) を充填します。
- 6) コンテナを取り付け、スプレーガンのアタッチメント部とタービン部を再びつなぎます。(図 3)
- 7) 電源プラグを差し込み、スプレーガンから洗浄剤 (溶剤または水) をバケツに捨て吹きします。
- 8) ノズルから透明な洗浄剤 (溶剤または水) が出てくるまで、上記の手順を繰り返します。
- 9) 電源プラグをコンセントから抜きます。
- 10) スプレーガンを分解します。クリック (図 3b) を軽く下に押え、スプレーガンのアタッチメント部をタービン部から回転させて外します。

18. WallPerfect スプレーアタッチメント の洗浄



- 1) コンテナを取り外し、空にします。サクシオンチューブを取り外します。
- 警告!** スプレーガンのノズルシール、チェックバルブ、ノズル口、通気口を洗浄する際、尖った金属製の道具は絶対に使わないでください。また、ノズルシール、チェックバルブセット、Oリングは、耐溶剤性があまり高くありません。溶剤に浸さず、拭くだけにしてください。
- 2) 通気ホース(図13, 1)をスプレーガン本体から引き抜きます。チェックバルブカバー(2)を緩め、チェックバルブ(3)を取り出します。すべての部品を丁寧に拭きます。
- 3) スプレー調整リング(図14, 1)をジョイントナット(2)からゆっくり取り外します。
- 4) ジョイントナット(図14, 2)を取り外し、エアーキャップ(3)、エアースクリーン(4)、ノズルシール(5)を外します。すべての部品を丁寧に洗浄します。
- 5) スプレーガンやコンテナの外側に付着したコーティング剤は、洗浄剤(溶剤または水)に浸した布でふき取ります。
- 6) 「組立」の手順に移ります。

組立

本機はチェックバルブ(図13, 3)が無い状態では使用できません。

- 1) チェックバルブのピン部を上方向にして設置します。
- 2) チェックバルブカバー(図13, 2)を締めます。
- 3) 通気ホース(図13, 1)をスプレーガン本体に取り付けます。



注意! 本機は、ノズルシールが正しく装着された状態でしか使用できません。ノズルシールが損傷していたり、外れていると、液体が装置内に流れ込む可能性があり、電気ショックの恐れが高まります。使用前にノズルシールを必ず確認してください。

- 4) ノズル内のノズルシール(図15, 6)を確認します。
- 5) ノズルシール(図16, 5)を、切り込み(スリット)がノズル側に来るようにガン本体に取り付けます。
- 6) エアースクリーン(図17, 4)をエアーキャップ(3)に合わせ、両方をノズル(5)に取り付けます。ジョイントナット(2)で固定します。
- 7) エアーキャップと赤色の調整レバーの位置に注意して、スプレー調整リング(図18, 1)をジョイントナットに被せます。
- 8) コンテナシールをサクシオンチューブの下から取付けます。コンテナシールがサクシオンチューブのカラー(窪み)にしっかり入っているか、コンテナシールを軽く回して確認します。
- 9) コンテナシールを取り付けたサクシオンチューブを、スプレーガン本体にはめ込みます。

19. ブリリアントスプレーアタッチメントの洗浄



- 1) コンテナを取り外し、空にします。サクシオンチューブを取り外します。
- 警告!** スプレーガンのシール、チェックバルブ、ノズル口、通気口を洗浄する際、尖った金属製の道具は絶対に使わないでください。また、**ノズルシール、チェックバルブセット、Oリングは、耐溶剤性があまり高くありません。溶剤に浸さず、拭くだけにしてください。**
- 2) 通気ホース(図13, 1)をスプレーガン本体から引き抜きます。チェックバルブカバー(2)を緩め、チェックバルブ(3)を取り出します。すべての部品を丁寧に拭きます。
- 3) ジョイントナットを取り外し、エアーキャップ、ノズル、ノズルシールを外します。すべての部品を丁寧に洗浄します。(図19)
- 4) スプレーガンやコンテナの外側に付着したコーティング剤は、洗浄剤(溶剤または水)に浸した布でふき取ります。
- 5) 「組立」の手順に移ります。

組立

本機はチェックバルブ(図13, 3)が無い状態では使用できません。

- 1) チェックバルブのピン部を上方向にして設置します。
- 2) チェックバルブカバー(図13, 2)を締めます。
- 3) 通気ホース(図13, 1)をスプレーガン本体に取り付けます。



注意! 本機は、ノズルシールが正しく装着された状態でしか使用できません。ノズルシールが損傷していたり、外れていると、液体が装置内に流れ込む可能性があり、電気ショックの恐れが高まります。使用前にノズルシールを必ず確認してください。

- 4) ノズルシール(図20, 1)を、**切り込み(スリット)がノズル側に来るように**ニードル(3)に取り付けます。
- 5) ノズル(図20, 2)をスプレーガン本体にはめこみます。
- 6) エアーキャップをノズルに被せてジョイントナットを締めます。
- 7) コンテナシールをサクシオンチューブの下から取付けます。コンテナシールがサクシオンチューブのカラー(窪み)にしっかり入っているか、コンテナシールを軽く回して確認します。
- 8) コンテナシールを取り付けたサクシオンチューブを、スプレーガン本体にはめ込みます。

20. メンテナンス



警告! エアーフィルターなしで本機を作動させないでください。飛散したコーティング剤のゴミ、ほこりなどが吸い込まれ、エアー量の減少やモーターの故障の原因になります。部品を交換する時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 1) 攪拌スティックを使って、エアーフィルターカバーを開けます。(図 21)
- 2) エアーフィルターを取り出し、汚れている場合は交換します。
- 3) 最初に、エアーフィルターをコンパートメントの下部へ押し込みます。(図 22)
- 4) 次にコンパートメントへ完全に押し込みます。

スプレーガンの組立をスムーズに行うために、同封のグリースをアタッチメント部のOリング(図24, 5)に塗ります。

21. 交換部品

交換部品リスト WallPerfect スプレーアタッチメント (図 23)

項目	名称	注文番号
	WallPerfect スプレーアタッチメントセット(1300 ml コンテナ一付)	0529 014
1	スプレー調整リングキット	0529 225
2	Flexio (フレキシオ) エアーキャップキット	0529 262
3	チェックバルブセット(通気ホース、チェックバルブカバー、チェックバルブ)	0529 005
4	コンテナシーล	0417 474
5	サクシオンチューブ	0417 473
6	コンテナ1300 ml(蓋付) ※Wallスプレーアタッチメント専用	2303 366

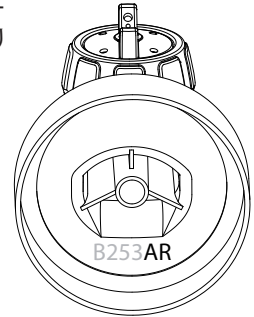
交換部品リスト ブリリアントスプレーアタッチメント (図 24)

項目	名称	注文番号
	ブリリアントスプレー アタッチメントセット(800 ml コンテナ一付)	2317 753
1	ジョイントナット	0417 319
2	エアーキャップ	0414 384
3	ノズル(1.8 mm)	0414 381
4	ノズルシーล	0417 706
5	Oリング(スプレーガン アタッチメント部)	0417 308

交換部品リスト ブリリアントスプレーアタッチメント (図 24)

6	チェックバルブセット (通気ホース、チェックバルブカバー、チェックバルブ)	2304 027
7	サクシジョンチューブ (マークなし、もしくは R マーク)* サクシジョンチューブ (AR マーク)*	2362 876 2367 410
8	コンテナシーล	0417 358
9	コンテナ 800 ml (蓋付)	0413 909

* 部品を注文する前に、スプレーアタッチメントの内側のマークを確認してください。コンテナとコンテナシーลを取り外すことで確認できます。



交換部品リスト Flexio 570 (図 25)

項目	名称	注文番号
1	エアーフィルターカバー (右 + 左)	2335 172
2	交換用エアーフィルター (×2)	2367 285
3	攪拌スティック	2339 827
4	漏斗 (×3)	2304 028
5	洗浄ブラシ	0514 209
	グリース ※図表記なし	2315 539

22. 付属品

追加のスプレーガンアタッチメントや付属品を利用することで、作業環境に合わせた快適なスプレーが可能です。

付属品 (セット構成には含まれません)

名称	注文番号
コンテナ 800 ml (蓋付) 塗料の乾燥や溶剤の蒸発を防ぎます。	0413 909
HVLP ハンドルエクステンション 天井や手の届きにくい場所の塗装に。	2307 678

付属品(セット構成には含まれません)

標準スプレーガンアタッチメント(コンテナー800 ml 付) 中～大サイズの塗装物や家具に。	0417 914
ローボリューム・スプレーガンアタッチメント(コンテナー250 ml 付) 繊細で複雑な被塗物に。	0417 918
ハイボリューム・スプレーガンアタッチメント(コンテナー1400 ml 付) 大サイズの塗装物(例:木造家屋、ガレージ扉)を素早く仕上げたい時に。	0417 917

23. トラブルシューティング

トラブル	考えられる原因	解決策
ノズルからコーティング剤が出てこない	<ul style="list-style-type: none"> ノズルが詰まっている サクシオンチューブが詰まっている 吐出量コントローラの調整が左(-)に回りすぎている サクシオンチューブが外れている コンテナー内に圧力がかかっていない 通気穴(図12, 1)が詰まっている 	<ul style="list-style-type: none"> → 分解洗浄 → 分解洗浄 → 右 (+)に回す → サクシオンチューブを確認する → コンテナーをしっかりと締めつける → 分解洗浄
ノズルからコーティング剤が垂れる	<ul style="list-style-type: none"> ノズルが緩んでいる ノズルが磨耗している ノズルシールが外れている、または摩耗している エアークャップ、ノズル、ニードルが汚れている 	<ul style="list-style-type: none"> → ジョイントナットを締める → 交換 → 交換 → 分解洗浄
霧化が粗い	<ul style="list-style-type: none"> コーティング剤の粘度が高すぎる 吐出量が多すぎる。吐出量コントローラの調整が右 (+)に回りすぎている ノズルが汚れている エアークャップの汚れがひどい コンテナー内の圧力が低すぎる エアークャップの量が少なすぎる 	<ul style="list-style-type: none"> → 薄める → 左(-)に回す → 洗浄 → 交換 → コンテナーをしっかりと締めつける → エアークャップの量をあげる(レベルII)

トラブル	考えられる原因	解決策
スプレーがとぎれる	<ul style="list-style-type: none"> • コンテナ内のコーティング剤が少ない • エアフィルターの汚れがひどい • ノズルシールが外れている、または摩耗している 	→ 充填 → 交換 → 交換
スプレーしたコーティング剤が垂れる	<ul style="list-style-type: none"> • コーティング剤の吐出量が多すぎる 	→ 吐出量コントローラを左(-)に回す
塗料飛散が多い	<ul style="list-style-type: none"> • 被塗物との距離が長すぎる • 吐出量が多すぎる • エア量が多すぎる 	→ 吹き付け距離を短くする (15章を参照) → 吐出量コントローラを左(-)に回す → エア量をさげる (レベル I)
通気ホースにコーティング剤が入る	<ul style="list-style-type: none"> • チェックバルブが汚れている • チェックバルブが破損している 	→ 洗浄 → 交換
装置が動かなくなった	<ul style="list-style-type: none"> • オーバーヒート時の自動電源オフ機能が働いている 	→ 電源プラグをコンセントから外し、30分程作業を中断する (オーバーヒートの原因となるエアフィルターの詰まりを確認してください)

24. 技術データ

技術データ	
電源:	100 V, 50/60 Hz
消費電力:	475 W
エア圧力:	150 hPa
最大エア風量 (WallPerfect スプレーアタッチメント):	500 l/min (レベル I)、 1100 l/min (レベル II)
感電保護クラス:	I
騒音レベル:	74 dB (A)
重量:	1.9 kg

25. 廃棄に関する注意



本機の廃棄、およびコーティング剤、洗浄剤の廃棄に関しては、国・地方自治体の消防・電気・安全関連の法規定、および各メーカーの指示に従ってください。

26. 製造物責任に関する重要事項

1990年1月1日に発効したEU規制に従い、メーカーは、すべての部品がメーカー製であるか、メーカーによって認可されたものであり、機器の組立と操作が正しく行われた場合のみ、製造物に対し責任を負います。他社製の付属品および交換部品を使用した場合、製造物責任の一部または全部が無効になります。極端なケースでは、管轄当局（同業組合および営業監督庁）によって機器全体の使用が禁止されることもあります。

WAGNER 製の付属品および交換部品を使用しないと、安全規定を満たすことができません。

保証規定

日本ワグナー・スプレーテック株式会社(以下「日本ワグナー」)は、本製品の材質上および製造上の欠陥により、正常な使用状態および使用後の完全な洗浄状態にもかかわらず、故障が生じた場合は、以下の保証規定に従い保証いたします。

- 1. 保証書に表記している保証期間内に、お客様に次の手続きをとっていただくことを条件として、無償で故障品を修理いたします。
 - (1) お買い上げの販売店に、お買い上げを証明する書面(レシート、納品書等)と保証書を提示すること
 - (2) 故障品を販売店が指定する宛先に返送すること

- 2. 本保証は、日本ワグナーが不具合の原因が次の場合であると判断したときには適用されませんのでご了承ください。
 - (1) 取扱説明書に記載の使用方法、注意事項に従わない使用がなされた場合
 - (2) 日本ワグナーまたは日本ワグナーが認めたサービス代理店以外の第三者により不当な修理、調整、改造がなされた場合
 - (3) 消耗部品の摩耗による故障、および消耗部品の交換
 - (4) 不十分な洗浄およびメンテナンスによる故障、損傷
 - (5) お客様による輸送、移動時の落下、転倒、衝撃等による故障、損傷
 - (6) 地震、火災、落雷、洪水等の自然災害、その他の外部要因によって生じた故障、損傷

保証書

WAGNER		保証期間:お買い上げ日より1年間	
	製品名:	Flexio 570	お買い上げ日:
お客様	(フリガナ) お名前		
	ご住所 〒		
	電話		
販売店	店名・住所・電話		
	(印)		
※販売店の印鑑がない場合は、購入レシートもしくは納品書を貼り付けてください。			

日本ワグナー・スプレーテック株式会社

〒574-0057

大阪府大東市 新田西町2-35

TEL: 072-874-3561

FAX: 072-874-3426

電子メール: marketing@wagner-japan.co.jp